

(別紙)

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園の保育理念、保育方針、保育目標が明文化され、園のリーフレットや入園のしおり、保育課程、保護者会総会資料などに明記されています。また、各クラスや事務室に掲げられ、職員や保護者が常に目にすることができるようになっています。</p> <p>職員は年度末の引継ぎの際や年度初めの園内会議において、読み合わせを行い、確認し理解を深める取り組みを行っています。また、保護者に対しては入園オリエンテーションや進級説明会、保護者会総会で説明し、周知を図っています。</p>		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>下野市の「第二次総合計画」「子育て応援しもつけっ子プラン」、また、「公立保育園民営化実施計画」において、子育てや保育園を取り巻く環境、経営状況が分析されており、それらは本園に配付され、閲覧できるようになっています。また、園長は研修会や会議に出席し、保育を取り巻く現状、動向について研鑽を積んでいます。今回実施した職員アンケートの結果では、「施設長は職員に対し経営状況や経営上の課題について説明していますか」の問いに「できている」との回答率は低く留まっており、職員に対する説明、周知の取り組みが望まれます。</p>		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員配置、施設・設備の整備など、本園の整備課題については、事務事業評価シートにより整理され、本庁で保育士の採用計画、公共施設等総合管理計画、保育園遊具修繕計画が立てられ、これらの計画に従って予算化が図られ、具体的な事業が計画的に行われています。事務事業評価シートは、園長よりこども福祉課に提出され、こども福祉課による1次評価、委員会、市長による2次評価がされ、市全体で総合評価が位置づけられ、具体的な整備事業に結び付けられています。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	(a) b・c
<p><コメント></p> <p>下野市の上位計画である「第二次総合計画」において本市の子育て環境づくりの中長期ビジョンが掲げられ、それをもとに子育て環境整備の事業計画である「子育て応援しもつけっ子プラン」、さらに「公立保育園民営化実施計画」が策定されています。この民営化実施計画ではグリム保育園としば保育園は当面、公立保育園として継続することになっています。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	(a) b・c
<p><コメント></p> <p>市の「第二次総合計画」をもとに、5年間の事業計画として「子育て応援しもつけっ子プラン」があります。この計画において各年度の事業目標が定められ、事業の進捗を勘案しながら年度の予算要求を踏まえ、年度の実施計画が策定されています。本園の年度事業もこの計画のもとに予算化が図られ、実施計画に盛り込まれています。</p> <p>保育内容についての年度計画については、主な計画として保育課程、年間指導計画、年間行事計画があり、年間の保育活動が計画的に行われています。その他、園の環境整備計画、避難訓練年間計画、職員研修計画など、各部門についても年間計画が作成され、それによって計画的に活動が行われています。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	(a) b・c
<p><コメント></p> <p>事業計画とは「第二次総合計画」や「子育て応援しもつけっ子プラン」、また各年度の「実施計画」が相当し、本庁企画部門やこども福祉課が担当しています。策定にあたっては子育て関係事業者、保護者代表が策定会議に参加するなど、子育て当事者や支援の現場の意見を踏まえ、定期的に見直し、計画策定が行われています。</p> <p>本園の保育課程、年間指導計画、年間行事計画など保育内容や園の活動については、担当者が決められグループで検討したり、主任が中心となり検討を行っており、検討結果は園内会議で協議され、決定されます。行事等については実施後、保護者へのアンケートを実施し、グループ会議や園内会議で結果の反省、評価を行い、問題点や改善点を明確にし、次年度の計画に反映しています。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a (b) c
<p><コメント></p> <p>市の「第二次総合計画」や「子育て応援しもつけっ子プラン」などの計画について、「入園のしおり」や「保護者会総会資料」などに記載がないことから、説明は行われていないことがうかがわれます。保育内容に関する年間行事計画は、年度初めの「入園のしおり」や「保護者会総会資料」に示し、周知され、また、各行事の実施の際には内容を詳細に案内する通</p>		

知を行っています。また、各種訓練など行事の実施後に、写真を貼りつけた手紙を配付し、取り組みの様子を伝えるなど、活動の周知を図り理解を促しています。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>全職員が自己評価チェックを実施し、その結果を集計、データ化して、強み、弱みを周知しています。それをもとに主任保育士を中心に園内研修を開き、弱みについて意見を出し合い分析し、改善策を見出し、文書化し、改善しています。職員は行事、各種訓練、環境、食育、体力づくり、地域交流、リスクマネジメントなどの分担に分かれています。全てPDCAサイクルに基づき職員全体の質の向上を図っています。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>全職員が自己評価チェックを実施し、その結果を集計し課題を明確にし、改善策を検討し、それを計画的に実行しています。また、行事の後には担当グループ会議や園内会議で、結果の評価、分析を行い、課題を明らかにし、改善策を検討、次回開催につなげています。明らかにした課題については文書化し、記録として残すようにしており、記録を確認することができました。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>市の就業規定や職務分担表に園長の施設長としての責務、権限が規定されています。また、年度初めには園内会議において、職務分担について説明し、園長の施設長としての責務を表明し、周知を図っています。日頃の会議において、園長は業務の指示、助言を的確に行っている様子が会議の議事録などに記されておりました。また、具体的に業務実施にあたっての園長の責務が各種マニュアルに明示されており、全職員に配布されており、グリム保育園マニュアルは各クラスに設置してあり、いつでも確認できるようになっておりました。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>事務室内に児童福祉法をはじめとする子育て支援に関連する法令集や下野市条例、職員服務規程などをファイルにまとめて、だれもが手に取ることができるようにしてあります。また、各クラスにも関係ファイルを置いてあり、いつでも確認できるようにしてあります。園長は施設長としての研修や各種会議に出席し、その活動を通して子育て支援に関連する遵守すべき法令等の情報を収集、把握に努めています。職員アンケート結果をみると、「事業所から、守らなくてはならない法令・倫理について、会議や研修で取り上げるなど職員の理解を深める取組を行っていますか。」の問いに「できている」との回答率は79%を示していることから、取り組んでいる様子がうかがわれます。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園長は日誌や園内会議での各行事の反省結果、自己申告や人事評価結果などから園の保育の状況を把握しています。職員の資質の向上については、各職員の年間研修計画を立て、園外の研修活動への参加、園内での研修活動を積極的に推進しています。また、下野公立保育園長が中心となって、障害児保育、食物アレルギー対応研修会、普通救命講習会、幼保連携に関する研修会などを実施し、公立保育園のみならず市内の保育園全体の質の向上を目指し、リーダーシップを発揮しています。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園長は常に職員とのコミュニケーションをとることを心がけ、臨時職員とは年2回の面接を持ち、職場の環境改善、円滑な業務の実施にあたっています。日頃の保育活動においても</p>		

職員の話聞く場を設け、改善に結びつけています。今年度は1歳児の保育室の環境改善の要望、提案に応え、床にマットを敷き、畳替えを行ったり、物入のボックスを移動しゲートを付けて食事のスペースを確保しました。また、総合遊具のメンテナンスを行うなど園長としてのリーダーシップを発揮して、園の環境改善を積極的に進めています。

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本市にとって保育士の確保は重要な課題であり、本庁総務人事課とこども福祉課が市全体の入園者数と保育士配置の分析を行い、臨時保育士を含め保育士採用の方針、計画が検討されています。そしてこの計画のもとにハローワーク、市広報で求人情報を発信し、正規、非正規の保育士募集を行っています。また、潜在保育士復帰応援ということで「おしゃべりカフェ はじめのいっぽ」を開催し、人材の確保に取り組んでいます。本園においては昨年1名の正規職員の採用がありましたが、それでも職員が不足しているため、ハローワーク、市広報で臨時職員を募集していますが、応募がなかなかないため、勤務形態、賃金の見直しを行っています。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>正規職員については、本庁総務人事課のもとで総合的な人事管理が行われています。職員の適正配置・処遇、また育成の観点から人事評価が実施され、同時に業務に対する自己評価（チェックリスト）、就業に対する希望について自己申告も行われ、人事評価結果は本人に開示されています。</p> <p>臨時職員については人事評価を行っていませんが、半年毎の雇用契約時に個人面談が行われています。就業継続の意向、保育士としての実績、反省、今後の目標、自分の強み・弱みといった自己評価の申告が行われています。また、理念や方針のもとに「期待する職員像」を明示し、事務室、各クラスに掲示し、職員の自己啓発を図っています。</p> <p>今回実施した職員アンケート結果をみると、「人事考課の目的を職員に説明し、人事考課の結果について職員へのフィードバックがされていますか。」の問いに「できている」との回答は低く、臨時職員に対し人事評価を行っていないことが反映されていると考えられます。臨時職員の実績、能力を最大限に生かすためにも、臨時職員に対する何らかの人事評価制度の整備が望まれます。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>市では「職員のための子育て応援ハンドブック」を作成・配付し、また「女性職員活躍支援行動計画」を策定、女性職員のキャリア形成とワーク・ライフ・バランスを推進しています。</p>		

す。休暇等の取得については職員の希望に沿って取得できるようにしており、毎月、各職員の勤務意向を確認し、それをもとに勤務割表が作成され、各職員の勤務状況について正規職員はパソコン上の出退勤システムで、臨時職員は臨時職員出勤簿で詳細に管理されています。

職員はストレスチェックを実施し、結果によってカウンセリングを受けることになっており、園長はメンタルヘルスの研修を受け、職場管理を行っています。また、正規職員は課長面談、臨時職員は園長面談を実施し、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17 Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 (a) b・c

<コメント>

正規職員については本市で統一して行っている人事評価制度により、育成に向けた取り組みを行っています。各職員は個人目標を設定し、手段・方法、期間など具体的な実施スケジュールを立てて行われています。個人目標の進捗管理については、目標設定時の期首、進捗状況の確認の中間、期末に課長と面談し、評価を行う体制が整えられています。

臨時職員については、年2回の面談時に目標確認を行っていますが、正規職員のような人事評価制度に基づく取り組みにはなっていないことから、今後の検討が望まれます。

18 Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 (a) b・c

<コメント>

臨時職員を含め、全ての職員に対し研修の機会を作り、参加を促しています。職員には市内5園研修、年齢別研修、テーマ別研修など様々な研修が用意されており、「保育士の階層別に求められる専門性」に添って、各職員の研修計画が立てられ、外部研修、内部研修が計画的に行われています。また、各職員別に研修受講一覧が作成されており、過去の研修活動の実績を踏まえながら、計画的な研修活動が行われています。

19 Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 (a) b・c

<コメント>

下野市内特定教育・保育施設に勤務する保育士や教諭を対象とした研修があり、テーマ別を実施しています。その他、年齢別にテーマに沿った研修、個々の保育士の階層に沿った研修活動を行い、質の向上に努めています。研修後は復命書を提出し、園内会議で報告することで、研修成果を他の職員へ伝え返し、共通理解を図っています。また、新規採用の正規職員に対しては、OJTによる育成計画が立てられ、指導を行っています。

今回実施した職員アンケート結果で「研修を修了した職員は、報告レポートを提出したり、皆の前で発表する取組はありますか。」の問いに「できている」との回答が93%と大変高い回答率を示していることから、活発な研修活動がうかがわれます。

Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20 Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 (a) (b) c

<コメント>

実習生の受け入れについては、市こども福祉課が窓口になり、マニュアルに従って計画的に実施しています。担当主任保育士が学校側と打ち合わせを行い、計画を立て、プログラム

に沿って指導にあたっています。実習生からは毎日実習日誌が提出され、それを担当職員、主任、園長が確認しています。また、実習最終日には園長、主任、担当職員が参加する反省会が行われています。

園長は、朝のミーティングや園内会議の中で受け入れについての心構えなどを話し、受け入れに積極的に取り組んでいます。

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本園は下野市立保育園であるため、保育園に関する情報公開は下野市で行っており、市のホームページで本園の概要が紹介されています。また、今回の第三者評価の実施により、とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構のホームページに本園の概要、評価結果が掲載されることになります。</p> <p>本園の概要を紹介するリーフレットがあり、訪問者や入園を希望する保護者等に配付して、本園について紹介しています。特別養護老人ホーム、グリムの館との交流、地域の高齢者、小・中・高生との交流など地域との交流も多く、本園の理念や方針を理解していただくために、リーフレットを活用しています。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本園における経理事務、業者との取引等は、市の規定、様式に従って実施しています。パソコンの財務会計システムにより歳入・歳出は管理され、システムは本庁こども福祉課等と直結しています。給食費、延長保育料、一時保育料なども市の規定、様式で行っており、定期的に公金等取扱チェックシートにより管理の状況をチェックしています。</p> <p>市による行政監査、県による指導監査は定期的に行われ、今回実施の第三者評価についても評価結果の公表を予定しており、公正かつ透明性の高い経営・運営の取り組みが行われています。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本園の基本方針の1つに「地域社会との連携を図り子どもの育ちを支える」を掲げ、地域の施設や市民と活発な交流活動を行っています。</p> <p>本園は地域の特別養護老人ホームへ定期的に訪問し、遊戯や歌を披露するなどの交流を行っています。また、「グリムのおはなしフェスタ」「消費者まつり」「公民館まつり」「ふれあい福祉運動会」などの地域の行事にも参加し、交流しています。</p> <p>地元の小・中・高生が来園し、園児と一緒に遊んだり、ゲームをしたり、また、地域の高齢者に講師になっていただき、手作りおもちゃを作ったり、運動会には小学校の校長先生や第三者委員の方、野菜作りの畑でお世話になっている方を招待して行っています。また、隣接する「こども発達支援センター こぼと園」とはお互いに施設見学をしたり、情報交換をしています。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>ボランティアの受け入れは市こども福祉課が窓口になり、マニュアルに従って実施しています。マニュアルのなかにボランティア受け入れの意義および目的が明記され、申込みの手続きから、ボランティアの受け入れ体制、事前説明、実施状況の記録などが定められています。</p> <p>今年度は現在のところ、ボランティアや中学生職場体験、インターンシップの申し込みがなく、受け入れを行っていませんが、保育士を目指す人材を育てるためにも、また、園の運営の人材を確保する意味においても、積極的な受け入れの取り組みが期待されます。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員が携帯する「しもつけ保育ポケット」には、保育の場面、緊急時の対応に従って、関連する施設は部署の連絡先が書き込まれていて、いつでも確認することができます。</p> <p>園児の引き継ぎなどで連携が求められる地域の幼稚園、保育園、小学校とは幼小連携連絡協議会の会議に出席するとともに、授業参観、保育参観、小学校見学などを行い、交流連携を図っています。障害児については「こども発達支援センター こぼと園」や市こども福祉課と連携を取りあっています。</p> <p>虐待の対応については、市こども福祉課が主催する「オレンジリボンキャンペーン講演会」に参加し意識を高め、マニュアルに従い担当課と連絡を取り合い、迅速な対応を心がけています。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		

26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本園は基本方針の1つに「保護者及び地域の子育て家庭に対し、専門性を生かした支援を行う。」を掲げ、保育の専門性を生かし地域に還元することを目指しています。</p> <p>市民の様々な子育てニーズに対し、市内公立保育園では本園と薬師寺保育園が一時保育を実施しており、急な用事や就労の関係で一時的に保育が必要になった方へのサービス提供を行っています。また、園庭などの施設開放についてはお知らせをしていますが、希望があれば受け付ける体制をとっています。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本園は高齢者施設や隣接するグリムの館、公民館との交流があり、園児の作品を展示したり、歌や遊戯を披露するなど祭りなどの行事に協力しています。また、実習生の受け入れや中学校の職場体験学習の受け入れを行っており、保育士を目指す人材の開発、また子育て体験の学習機能を担っています。さらに、「こども発達支援センター こぼと園」からの紹介で一時保育で預かるなどの取り組みを行っています。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	○ a · b · c
<p><コメント></p> <p>本園の保育理念や基本方針、保育目標、保育課程の見直しについて年度末に話し合いが行われました。保育所保育指針の研修会に参加し、会議で報告が行われたり、読み合わせ勉強会も行われています。子どもを尊重した保育についての取組が行われている様子が確認できます。職員アンケートの「利用者を尊重したサービス提供の重要性等の勉強会等を行っているか」の問いに「できている」は82%と高い回答率を示しています。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	○ a · b · c
<p><コメント></p> <p>市内公立5園で作成した「保護者支援マニュアル」を基本として、本園では「プライバシーの尊重と保護」などの規程があり、「保管・掲示」や「送迎」などの場面の設定や、保護者との会話の例示などに工夫がなされており、職員にもわかりやすく周知されているものと思われます。保護者には、入園時に子どもの氏名や写真の使用等に関する同意・不同意を書面にて提出いただき、これを遵守し掲示等を行っています。保護者アンケートで「職員はプライバシーを守っていますか」の問いに「はい」が93%と大変高い回答率を示しており、保護者にも取り組みが評価されています。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a · ○ b · c
<p><コメント></p> <p>本園に関する情報は、市の担当課がホームページや広報、窓口などで情報提供を行っています。公共施設等へのリーフレット設置は、公立全5園のリーフレット作成後に行いたいとのことで、情報提供の広がりが期待されます。園の見学希望に対しては、主任が担当となり随時受け付けています。見学時は「リーフレット」などにより保育理念や保育の基本方針、保育の目標や特性等を説明し、その後園内を案内するなど丁寧な対応を心掛けています。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	○ a · b · c
<p><コメント></p> <p>保育の開始・変更にあたっては、入園説明会や進級説明会で保育時間等について説明が行われています。「入園のしおり」は、持ち物などは写真を用いてわかりやすく記載され、さらに「子どもの症状を見るポイント」など疾病の発見や各感染症の特徴、病後児保育施設の連絡先など、「保健・健康管理」面も充実しており、入園後もずっと使い続けられる有用なものと感じました。保護者アンケートの「入園した際に、保育の方針や内容について、説明があ</p>		

<p>りましたか」で「はい」は94%と大変高い回答率が示されており、アンケートからも裏付けされています。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a (b) c
<p><コメント> 市内の公立保育園に転園する場合には、児童票や情報交換し引き継ぎを行い、継続性に配慮した保育、支援を行っています。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。</p>		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a (b) c
<p><コメント> 保護者が参加する行事（グリムファミリーフェスタ、運動会、発表会、一日保育士体験）では、行事参加後に保護者にアンケートを行い、感想・意見等をまとめ保護者に文書で伝えています。保護者意見に対する園の考えを合わせて伝えられれば、なお望ましいように感じます。検討すべき内容については職員の検討に加え、保護者会（役員会や総会）にかけ、検討が行われます。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a (b) c
<p><コメント> 入園のしおりに「保育園に対してのご意見・ご要望について」として「受付担当：主任保育士」、「相談解決責任者：園長」、「第三者委員」について記載があり、保護者に説明されています。また、園内に同内容のチラシを掲示したり、4月の園だよりに記載するなど、周知に努めています。苦情については「苦情記録書」に記載するとともに園内会議で取り上げ、反省・改善等が行われる体制がとられています。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a (b) c
<p><コメント> 「ご意見箱」を1歳児ももクラスの下駄箱の上に設置しています。上記、「保育園に対してのご意見・ご要望について」において、「ご意見箱」の利用も促していますが、利用はほとんどありません。しかし、保護者アンケートにおいて「保護者が意見を言いやすいように、職員は言葉かけを行うなどの取組をしていますか」で「はい」は85%と高い回答率を示しており、日々の会話や連絡帳などから意見をうかがい、相談に応じる様子がうかがえます。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	(a) b c
<p><コメント> 「苦情記録書」や「育児相談」記録、連絡帳などにより、保護者からの相談や意見に対して、適切に対応している様子がうかがえます。保護者アンケートで「要望や意見などに、きちんと対応してくれますか。」で「はい」が87%と高い回答率となっていることから、適切に対応がなされていることがうかがえます。</p>		

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「しもつけ保育ポケット保育安全マニュアル」を全職員に配付し、事故等発生時に適切に対応できるよう備えています。ケガやヒヤリハットについては朝のミーティングで読み上げ再発防止に向けて共通理解を得たり、ケガの状況を発生時間や場所、形態などを整理・分析し再発防止に努めるとともに、保護者にも「安全だより」として伝えています。職員アンケートで「ヒヤリハット等の情報を収集し、組織として予防策を講じていますか」の問いに「できている」は90%と大変高い回答率を示しており、取り組みの様子がうかがえます。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>市内5園で作成した「保育安全マニュアル」に加え、「感染症対応マニュアル」や「嘔吐に対する処理の仕方」、「下痢に対する処理の仕方」など本園独自のマニュアルを整備し感染症の予防・発症に備えています。保護者に対しては「ほけんニュース」により予防を呼び掛けたり、感染症が発生した際には「メール」配信により連絡しています。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「保育安全マニュアル」に「自然災害等発生への対応」が定められています。「避難訓練年間指導計画」に基づき、火災や地震、台風などの発生を想定し、毎月避難訓練を実施しています。河川の増水により浸水の恐れがあることから、水害時の避難の仕方として職員の車に子どもを乗せ避難場所に移動する設定での訓練も行われました。実際に職員の車に乗り込む体験を行ったことで、乗り入れ方や場所などの反省もみられ、より安全な避難に向けて改善に取り組んでいくものと思われます。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育について標準的な実施方法を定めた「保育マニュアル」及び「デイリープログラム」が年齢ごとに定められており、「職員の動き」や「配慮事項」などが記載されています。職員アンケートにおいて「標準的な実施方法に差異が生じないよう、職員研修等を実施していますか」の問いに「できている」との回答率は若干低く、職員数が32名と多いことから共通理解が課題の一つとなっており、さらなる取組みが期待されます。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p><コメント></p>		

標準的な保育の実施方法の検証・見直しは、保護者の意見も含めて園内で意見を集約し検討することとなっています。しかし、職員アンケートで「標準的な実施方法の見直しには、職員や利用者の意見が反映され見直されていますか」では「できている」との回答率は若干低く、取り組みの一層の充実・改善が求められます。

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・b・c
----	--------------------------------------	-------

<コメント>

指導計画は主任保育士が責任者となり、保育課程に基づき作成されています。3歳未満児や支援児については、子ども一人ひとりの生活状況、保護者のニーズ等に基づき個別指導計画が作成されています。職員アンケートにおいて「実施計画等には、さまざまな職員が参加して協議していますか」の問いに「できている」との回答率は低く、取り組みの充実・改善が求められます。

43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
----	----------------------------------	-------

<コメント>

「年間指導計画」は四半期ごとに各学年の担当職員が項目のチェックと自己評価を行い、次期につなげています。毎月の「指導計画」は月末に担当職員の自己評価と子どもの評価を行い、主任、園長に提出し、翌月の指導計画に活かすようにしています。職員アンケートで「サービス内容が変更された場合、関係する職員に周知されていますか」で「できている」の回答率は73%となっています。

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c
----	---	-------

<コメント>

子どもの発達状況や生活状況は、県保育協議会で定められた様式に従って児童票に記録されています。また「児童票の記入の仕方について」(文書)や園内会議において説明されるなど、記録の統一に向けた取組も行われています。朝のミーティングにはクラス代表者が出席し、ミーティングノートに記載しクラスに持ち帰り、関係職員はノートを確認することとなっています。朝夕の送迎時は、クラス保育士がメモを朝遅担当保育士に渡し、保護者に連絡することとしています。入園児数に対応した伝達方法など、工夫ある取組が望まれます。

45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
----	----------------------------------	-------

<コメント>

「ファイル基準表」や「記録一覧」によりファイル名称や保管場所、保存年限などを定めており、これに基づき事務室内のキャビネットに文書を管理しています。個人情報について職員は機密情報保持に関する宣誓書を市に提出し、遵守に努めています。職員アンケートの「記録の管理の方法について個人情報保護や情報公開の観点から、職員研修が行われていますか」では「できている」との回答率が若干低くなっており、取り組みのさらなる充実が求められます。

A-1 保育内容

A-1- (1) 保育課程の編成		
A①	A-1- (1) -① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>本園では「子どもの最善の利益」や「心身共に健康で心豊かな子ども」を掲げる理念や、保育目標、基本方針を掲げており、「保育課程」にもこれらを明記し、これに基づき編成されています。「保育課程」は、毎年度末には見直しを行い、翌年度の改定につなげています。</p>		
A-1- (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1- (2) -① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>昨年度に空調工事が行われたことも踏まえ、「エアコン使用表」に時間や温度等を記録し、快適な環境形成に努めています。また「衛生管理チェックリスト日常点検表」をもとに衛生管理面のチェックが行われています。また、1歳児の保育室では、「広すぎて落ち着かない」との職員意見を踏まえ、既存のロッカー等で空間を分け、落ち着ける食事スペースを作るなど、環境に配慮した取組が行われています。</p>		
A③	A-1- (2) -② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>園内会議で園長より「一人ひとりの子どもの力が発揮できる環境を整える。」といった話が行われました。「子どもは一人ひとりみんな異なり、同じ子どもは誰もいない。みんなそれぞれ違った個性や発達であり、同じことをさせようとする子どもにとって苦痛である。一人ひとりが生き生きと、やりたい事を見つけて遊ぶ。生き生きと遊び込める、そんな場所でありたい。」との思いで保育しているとのこと。『『周りに流されず、自分のやりたいことをして過ごす』との話を先生から聞いて、目から鱗が落ちました。』との保護者の記録もあり、子ども一人ひとりに対する保育が実践されていると感じます。</p>		
A④	A-1- (2) -③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>2歳児のクラスに「おはしやおわんの持ち方」のポスターが掲示されており、目で見て楽しみながら覚えられるようにと、「お箸」に取り組んでいます。また、給食の場面において、年長児は園長先生と一緒にご飯が食べたくて「ご飯を食べに来て下さい」と先生に手紙を書いて伝えるようになりました。字や絵を描くことに興味を持つように、給食など工夫して子どもの体験を育てる様子がうかがえます。</p>		
A⑤	A-1- (2) -④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>各クラスでは、一人ひとりの自主性を尊重した保育が行われています。あるクラスでは身</p>		

<p>体測定が行われている他、トランプやジグソーパズル、おままごと、夏祭りのおみこしを使った遊びと、さまざまな活動が行われていました。子ども達が自分で活動を選ぶことができるよう、備品等の配置を設定したりして、子ども達一人ひとりに目を向ける職員の支えが背景にあります。また、兄弟や家族数が少なくなっている今日では、異年齢児交流や高齢者との交流も大切であり、思いやりの心が育ち自然と小さい子どもの面倒を見る姿も見受けられます。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>朝夕のあいさつや連絡帳により毎日保護者との連絡をとり、子どもの成長の様子を相互に理解しながら、愛情豊かな保育に努めることとしています。また、訪問日には、他の子どもが活動している園庭をベビーカーに乗り、散歩をしたり砂遊びをする姿もあり、自ら体を動かそうとする意欲を育て、体を動かす機会を確保する取組の一環が見受けられました。また、「0歳児用生活票」を用いて、午睡時間、午睡時の顔の向きや呼吸のチェック（5分間隔）、体温、ミルクの量を記録するなど、安全面にも配慮がなされています。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>1・2歳児は自我が育ち活動が広がる時期であることから、保育士は応答的に関わり自我の育ちを見守るとともに、気持ちを受け止め友達と関わりを持てるよう取組んでいます。園庭ではバドミントンや砂遊び、おままごとなど友達との関わりの中で子どもが自発性をもって取組んでいる様子がうかがえます。また、2歳児クラスには、キッチンやレジといった職員手作りのおもちゃがありました。おもちゃを作る過程から子ども達に見せることで、想像力を育み、愛着をもって遊んでいるように思われます。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>3～5歳児のクラスでは、さまざまな創作活動が行われています。3歳児クラスでは段ボールで節分の鬼づくりが行われ、4歳児クラスでは夏祭りで作ったお神輿を改良した遊びが、5歳児クラスでは割りばしと毛糸で編物が行われていました。また、集団の中で、自分の興味あるものに集中して取組み、友達と一緒に元気に遊ぶ姿が見られました。また、地域の小中高校生や特別養護老人ホームの高齢者との交流、公民館まつりなど、いろいろな人と関わることの楽しさや、思いやりの心などを育てるよう取組も行われています。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>支援が必要な子どもに応じて個別指導計画を作成し、集団の中で安心して生活できるよう</p>		

職員が支援しています。市の保健師やこばと園との連携を図り、アドバイスなど支援を受ける体制がとられている他、多くの職員が研修会等に参加し、資質の向上に努めています。一方、保護者に対して、発達障害等障害児に関する適切な情報をどのように伝えていくかは、今後の課題となっています。		
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者の送り迎えは、朝は床暖房があり暖かく多くの子どもが集まれる広い1歳児クラスの部屋で、帰りは子どもの数に応じて段階的に集合し、最終的には2歳児クラスの部屋に集まり、ぬいぐるみなどでゆったり遊び、保護者の迎えを待っています。連絡にはミーティングノートが用いられていますが、遅番保育士に別途メモを渡し、保護者に伝える際には記録されない様子も見受けられました。より望ましい伝達方法などを検討することが望まれます。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>下野市幼小連絡協議会に参加し、会議や研修会、保育参観、授業参観、小学校見学、小学校との引き継ぎ、情報交換など、スムーズに小学校入学につながるよう取り組みが持たれています。また、年間計画では文字や数に興味を持ち、就学への期待が持てるよう保育の展開が位置づけられています。卒園後も運動会に招待し交流を図り、いつでも相談に応じる体制となっています。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>毎年度「保健計画」を定め、これに基づき子どもの健康管理等に取り組んでいます。子どもの健康に関する基本的な情報は、保護者の協力のもと「健康記録」に記載しています。日々の保育においては、送迎時の保護者との話や視診、衛生管理チェックリスト日常点検表などにより確認し、職員間で共有しています。また、午睡時のあお向け・呼吸の確認、感染症などは園内会議で注意喚起が行われています。保護者アンケートより「保育中の発熱やけがの措置・保護者への連絡等体調変化への対応は十分ですか」の問いに「はい」は94%と大変高い回答率になっています。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>健康診断、歯科健診は年2回実施しており、欠席者には個人で受診をお願いしています。結果については児童票に記録し、保育に反映するよう職員に周知を図るとともに、保護者には書面で伝え、必要な子どもには受診を勧めています。歯科健診では治療済の結果報告書を提出していただき、家庭での生活に活かされるよう家庭と連携を図っています。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p>		

<p>「保育安全マニュアル」や「食物アレルギー対応マニュアル」にアレルギー対応に関する手順等が記載されており、職員に周知するとともに、保護者にも「入園のしおり」等を用いて説明が行われています。管理栄養士や園長、担任が同席して聞き取りを行い、アレルギー専門医の受診を勧め、「生活管理指導表」を提出いただき、給食への対応（代替食等）、専用トレイ・名札設置など、家庭と連携・確認をいただきながら対応が行われています。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>年齢ごとに「食育年案計画」を作成し、子ども達が食に関する豊かな経験ができるように、アグリ体験やクッキング、食材カードを使った給食の学習など、様々な取組が行われています。アグリ体験ではナスや絹サヤ、ジャガイモなどを栽培・収穫し、焼きジャガイモなど収穫の喜びを感じながら楽しんで食べる体験が行われています。また、アレルギー食のない給食日を選んで、好きなクラス・席で食事をする「フリーランチ」（3～5歳児対象）にも取り組み、アレルギーのある子ども、皆と一緒に楽しく食べる工夫がなされています。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>給食の献立は市の栄養士が作成しており、市内5園で共通となっています。月ごとに各5園の子どものリクエストに応えるメニューや、誕生会メニュー、季節・歳時記に応じたメニューなどもあります。検食は園長及び主任保育士、管理栄養士が毎月交代で行い、安全な食事の提供に努めています。喫食状況等を踏まえ、園内の給食会議や、市の担当課、栄養士、委託業者、調理員による献立会議において話し合い、献立に反映、改善される体制がとられています。</p>		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>家庭との連携については、日々の保育の中でコミュニケーションを密にとるようにしており、朝夕のあいさつや連絡帳（0・1歳児は毎日、2歳以上は必要に応じて記載）や保育参観により、家庭との連携を図っています。また、今年度は「一日保育士体験」を行い、15名の保護者が参加しました。子どもと関わるのが楽しいと感じてもらい、職員とのコミュニケーションを密にすることができ、保護者にも好評でした。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者とのコミュニケーションを密にし、保護者の気持ちを受け止めることとし、個別に受けた相談は、相談記録に記し、必要に応じて主任・園長に相談する仕組みがとられています。</p>		

す。また、学年ごとの懇談会（年長はクラスごと）を年に2回行う他、一日保育士体験参加者と個人面談を行っています。保護者アンケートで「子どもの状態や育ちについて、保護者の相談に応じてくれますか」で「はい」の回答率が91%と、大変高い回答率になっています。

A⑱	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・b・c
----	--	-------

<コメント>

市内5園で作成した「保護者支援マニュアル」の他、「虐待フロー図」や「虐待対応マニュアル」を作成し、職員に配付し周知を図っています。また、虐待研修会には多くの職員が参加し、資質の向上と共通理解を深め、保育の向上に努めています。子育てに困難を抱えた保護者には声かけをして、気持ちを受け止め、登園できるよう働きかけが行われています。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・c
----	---	-------

<コメント>

職員は毎年自己評価を行っています。各職員の評価をまとめた結果、「障害児保育」や「保育内容：環境」、「保育内容：表現」面が、園全体としての課題となっているとの結果が得られました。この課題をどのように解決するか、グループワークによって提案をまとめています。職員自らがグループワークにより課題や改善提案を検討することで、多くの気づきを得て、改善につながっていくものと思われます。